



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

「地域脱炭素」「行動科学(ナッジ等)」
に関する政策形成支援

宇山 生朗

(うやま いくろう)

公益財団法人北海道環境財団
北海道地球温暖化防止活動推進センター



○ 登録者情報

所在地

北海道札幌市

略歴

東京都出身。北海道在住。大学院(環境科学)修了後、建設業の環境部門を経て、現職の公益財団法人北海道環境財団に入職し、気候変動対策や生物多様性をはじめとする自治体の環境政策支援に従事。2019年度から北海道環境生活部環境局・ゼロカーボン推進局派遣となり、「脱炭素地域づくり」や「環境配慮型の行動変容促進」などに関する新規事業の企画立案及び運用を担当。その傍ら、総合政策部政策局委嘱のもと、「ゼロカーボン北海道庁内横断政策検討」「ナッジを活用した効果的な政策の実現」についての全庁的な政策開発プロジェクトをそれぞれ立ち上げ、道職員有志とともに運用を担う。これらを経て派遣期間の1年延長措置(2021年度まで)、プロジェクト代表者として北海道職員表彰受賞。

また、気候変動対策のINGOであるClimate Reality Projectや、全国の自治体及び省庁職員等で構成する行動科学(ナッジ等)の政策適用に向けた自治体支援を図るNPO法人PolicyGarageに参画し活動しているほか、それぞれの分野の地域実践に係る大学共同研究・講師、各種普及活動にも取り組んでいる。

《主な経歴》

- ・公益財団法人北海道環境財団 地球温暖化防止活動推進センター(2016年8月～現在)
- ・北海道派遣(2019年4月～2022年3月)
- ・Climate Reality Project Leader(2019年～現在)
- ・NPO法人PolicyGarage 行動科学チーム(2021年～現在)
- ・慶應義塾大学 VALUE Behavioural Insights Project 共同研究(2021年～現在) など

著書・論文等

《主な講演・講師活動》

- ・北海道大学経済学部シンポジウム「環境問題を解決するナッジ政策の可能性」講演(2020年)
- ・Venture Café Tokyo × BECC JAPAN「脱炭素に向けた自治体の取組と行動変容」講演(2021年)
- ・Outdoor Innovation Summit「気がついたら環境活動をしていたを如何にして仕込むか」スピーカー(2021年)
- ・札幌市立大学看護学部「ナッジを活用した事業デザインを考えよう」講師(2022年) など

《主なメディア対応》

- ・NHKおはよう北海道「冬の省エネの取組み」企画構成協力及び出演(2019年)
- ・北海道テレビ情報番組イチオシ!!「いま注目のナッジ理論とは？」企画構成協力及び出演(2021年) など

〇「地域脱炭素」「行動科学(ナッジ等)」に関する政策形成支援

取組の内容

「地域脱炭素」をはじめとする環境政策形成や「行動科学(ナッジ等)」の政策適用に関する地域の中間支援・コーディネーターとして活動しています。効果的で地域に根ざす取り組みとなるよう、自治体はじめ産学官民の地域主体間を繋ぎつつ、実践者目線で政策形成や具体的な事業化に向けた各種支援に努めています。

1) 地域脱炭素関連

持続可能な地域再生・活性化の手段としての地域脱炭素の浸透に向け、各種取り組みを進めています。従前より気候変動対策に関する地域協働の場や研修機会づくり、地域CO2排出実態調査、地域住民を対象とした啓発・行動変容策の設計、補助事業の情報提供などを実施してきたほか、近年はそれに加え、自治体の立場で新規予算事業や民間協定事業を複数企画立案・運用してきたノウハウと、その間で得た道内外の産学官民ネットワークを活かしながら、様々な主体に対し地域の特色に合わせた具体的な政策・企画提案に取り組んでいます。

2) 行動科学(ナッジ等)関連

多くの政策や事業の目標達成におけるラストワンマイルは「人の行動変容」にあります。その行動変容を効果的に促すソリューションとして注目される行動科学(ナッジ等)の知見を政策等に取り入れ、公共サービスの更なる質向上を目指す活動を、道職員はじめ全国の産学官民連携のもと進めています。具体的には、道内実践者ネットワークの整備(道職員有志を中心としたナッジ・ユニット「北海道行動デザインチーム」の運用)、課題解決に向けたナッジの設計とその支援、研修機会づくり、政府日本版ナッジ・ユニットBESTほか全国ネットワーク参画によるナレッジ共有等に取り組んでいます。



地域脱炭素に関する研修会の開催(2022年)



道本庁舎での消毒剤利用促進ナッジ(2020年)
※ 適正配置・矢印認知強化等で50%以上利用増加

実績

1) 地域脱炭素関連

- ・ 啓発等の学習機会や協働の場づくりの企画運用とその支援(釧路市連携ほか複数)
- ・ 地域CO2排出実態及び住民意識等の調査(函館市連携ほか複数)
- ・ 自治体省エネ環境教育事業等の効果検証(登別市連携ほか複数)
- ・ 先進事例や補助事業等の各種情報支援(適宜実施)
- ・ ゼロカーボン北海道WEB勉強会の運用(市町村職員など年間述べ500人以上参加・2021年度)
- ・ 北海道での事業企画立案及び運用(5件ほか)
 - 脱炭素モデル地域構築調査検討委託業務(2021年度)
 - 太陽光発電及び蓄電池システム共同購入事業(2021年度~)
 - 脱炭素社会に向けた行動変容促進事業委託業務(2021年度~)
 - 民生部門における再生可能エネルギー利用拡大促進事業(2022年度)
 - 政策開発推進事業「ゼロカーボン北海道庁内横断政策検討プロジェクト」(2021年度)
- ・ そのほか民間企業・教育機関・非営利団体等に対し企画提案や情報提供等の各種支援を実施

2) 行動科学(ナッジ等)関連

- ・ 道職員有志ナッジ・ユニット「北海道行動デザインチーム」の立ち上げ運用(2020・2021年度)
 - ナッジの政策適用に関する講演や研修(計30件)
 - ナッジの設計とその支援(計8件)
 - 政府日本版ナッジ・ユニットBESTやBECC JAPANなど全国ネットワークへの参画(計3件)
- ・ 北海道での事業企画立案及び運用(2件ほか)
 - 政策開発推進事業「行動デザイン(ナッジ等)を活用した効果的な政策の実践」(2020年度)
 - 政策開発推進事業「ナッジとデザイン思考の融和による政策イノベーション」(2021年度)※企画支援
- ・ そのほか研究機関と地域主体間共創マッチング等の各種支援を実施

工夫した点や苦労した点

1) 地域脱炭素関連

- ・ 持続可能な地域再生・活性化の手段としての地域脱炭素の浸透
- ・ 地域資源の活用を前提とした他地域との補完関係の構築(地域循環共生圏的着想)
- ・ 地域主導のビジョン形成と積小為大な取組実践

2) 行動科学(ナッジ等)の政策適用支援

- ・ ナッジを通じたアウトカム思考の浸透
- ・ 研修で終わらない実践機会の提供と小さな成功体験の創出
- ・ 行動変容という普遍課題をきっかけとした組織・分野横断型ネットワークの構築

ひとことPR

脱炭素を筆頭に地域課題が高度・複雑化し地方自治の負荷が増す中で、今後も公共サービスを維持していくには、今まで以上に多様な地域主体との相互補完的連携が求められるかと思えます。

地域主体や関係者間を繋ぎ、実践者目線で地域に寄り添う伴走型の中間支援として、少しでも皆さまのお力になれば幸いです。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	○ 分散型エネルギーシステム
地域交通	○ 地球温暖化対策
集落機能の確保	○ 廃棄物・リサイクル対策
その他	○ その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	○ その他 サステナブルツーリズム
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
○ 自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
○ その他 行動科学(ナッジ等)の政策適用支援	

関連ホームページ

(団体)公益財団法人北海道環境財団	http://www.heco-spc.or.jp
(団体)環境省北海道環境パートナーシップオフィス	https://epohok.jp
(個人)Facebook	https://www.facebook.com/iku.uyama.7/

連絡先

メールアドレス	uyama.ikuro[アットマーク]outlook.jp		
---------	-------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。